

2. 感染対策ガイドライン JOAからの追加事項

場面	リスクと考え方	主催者、運営者の方へ	参加者の方へ
全般	<p>大会にかかわる皆さん各個人の感染リスクに対する意識と予防策が重要になります。一般に言われている、「新しい生活様式」の実践を大会の現場でもお願いいたします。自らが感染する可能性と、他人に感染させる可能性が常にあると思ってください。</p> <p>無症状であっても、発症の少し前の状態であれば他人に感染させるリスクはありとされています。</p>	<p>マスク着用。こまめな手洗いの励行。状況により、手袋、ゴーグル、フェイスシールド、キャップなどの着用などをお願いします。三密を避けることを意識してください。</p>	<p>マスク着用。こまめな手洗いの励行。状況により、手袋、ゴーグル、フェイスシールド、キャップなどの着用などをお願いします。三密を避けることを意識してください。</p>
企画 地元対応	<p>大会開催にあたっては、地元の意向を尊重してください。自治体、土地所有者、管理者、地元住民、などの方々に丁寧な説明を行って、許諾を得、トラブルにならないように注意してください。</p>	<p>自治体、土地所有者、管理者、地元住民、などの方々に丁寧な説明を行って、許諾を得てください。 状況に応じて、適宜緊密に相談してください。</p>	<p>地元の方々に迷惑をかけないように、適切な行動をとってください。 地元の方の意向を尊重するとともに、いろいろな面での地元への協力をお願いします。</p>
準備段階	<p>スタッフの感染は起こしてはならないので、スタッフの健康管理に留意し、準備作業においては三密を避けてください。</p>	<p>準備日程、場所の時間的・空間的余裕を確保してください。 共用の備品で可能なものは消毒してください。 スタッフの体調管理に注意を払い、欠員が生じた場合の代替要員の確保も検討してください。</p>	
参加	<p>感染者および可能性のある人の大会参加を回避する努力をしてください</p>	<p>日本スポーツ協会のガイドラインに記載されている「参加者が遵守すべき事項」、「参加者が運動・スポーツを行う際の留意点」を参加者に提供し、周知するようにしてください。 大会参加を中止せざるを得なくなった場合の、返金や、エリートクラス参加資格等の取り扱いについて検討して下さい。 参加者の体調等の調査様式を準備し、当日回収したうえで、およそ1ヶ月間保存してください。（*） 当日の参加者の検温なども、（三密を作らない配慮をしたうえで）ご検討ください。</p>	<p>日本スポーツ協会のガイドラインに記載されている「参加者が遵守すべき事項」、「参加者が運動・スポーツを行う際の留意点」をよく読んで、それに従ってください。大会の前日から体調に留意し、当日の朝、検温をしてください。 体調の調査用紙と後日連絡が必要になった場合の問診表の提出にご協力ください。</p>

交通機関	<p>他人との接触機会をなるべく減らすためには、自家用車が望ましいと思われませんが、車内の密は避ける必要があります。そのためには駐車場の確保が必要になります。</p> <p>公共交通機関の場合は、混雑を起こして地元の利用者に迷惑がかかることを避けなければいけません。</p> <p>臨時便やチャーターバスなどを利用するなどの対策を検討する必要があります。この経費については、参加者に応分の負担を求めてもよいと思われます。</p>	<p>参加者の利用交通手段の事前調査をお勧めします。</p> <p>自家用車で参加がしやすいように、可能な範囲で駐車場の確保に努めてください。</p> <p>公共交通機関利用の集中ができるだけ無いように、集合・スタート時刻などを検討して下さい。</p> <p>臨時便やチャーターバスなどを利用するなどの対策を検討をしてください。その際には、座席定員を超えない程度の乗車率が一つのめどになるかと思ひます。</p>	<p>自家用車ででの来場のほうが好ましいと思われます。できれば家族以外は同乗は避けるほうが望ましいでしょう。乗車定員の半分くらいの人数での利用をお勧めします。</p> <p>また、車内換気を励行してください。</p> <p>公共交通機関を利用する場合は、混雑する時間帯を避けてください。大会専用のチャーター便などがある場合にはそれを優先利用してください。この場合、交通費が割高になる可能性もあるかもしれませんが、ご協力をお願いします。</p>
会場	<p>参加者が集合、待機するための会場は、屋外にすることが推奨されます。</p> <p>一般的には、2mの距離を置くことが良いとされていることから、一人当たりの面積を4㎡（100人の参加なら400㎡=20×20m）確保できればよいだろうと思われます。</p> <p>屋内の場合、収容人員の50%以下という目安があります。同時に入る人数の上限の設定が望まれます。</p> <p>体育館などでは上記の面積基準も参考になります。</p> <p>室内の換気にも留意する必要があります。</p>	<p>参加見込み人数に応じた、会場面積の確保に努めてください。</p> <p>会場面積が取れない場合には参加人数の制限も検討して下さい。</p> <p>雨天対策としてテントを多数設置することも検討して下さい。</p> <p>建物は、更衣と雨天時の荷物置き場に限定するのが良いと思われます。</p> <p>屋内に、同時入室する人数の制限に努めてください。また、室内の換気にも留意してください。</p>	<p>会場は野外、荷物置き場も野外、を前提とした準備（例えばテントやタープを持参するなど）をしてください。</p>
受付	<p>受付では、参加者が行列を作ったり、密集することを避ける必要があります。</p> <p>参加者がスムーズに流れるような事前準備が必要です。</p>	<p>受付場所は、野外（テント）で、面積を広くとるのが良いと思われます。</p> <p>効率的な受付のために、事前申し込み励行、金銭取り扱いを減らす、配布物は参加者が自身でピックアップするなどの工夫をしてください。</p> <p>誘導の時には、大声を避けるため拡声器などの利用も検討して下さい。</p>	<p>できるだけ事前に、正確な申込をして、当日は受付がスムーズに行くように、主催者に協力してください。</p>
トイレ	<p>トイレは感染リスクが高いとされている場所の一つです。</p> <p>ドアノブ、水道栓などはどうしても手に触れるため、接触感染の危険性があります。</p> <p>水道設備や消毒薬の準備が必要です。</p>	<p>水道設備、手洗い石鹸、消毒薬などを十分に準備してください。</p>	<p>使用前後の手指衛生（十分な手洗いと消毒薬の使用）を心がけてください。</p>

速報所・掲示板	参加者への公平な情報提供は必要です。一方で掲示板の前で参加者が密にならないための工夫が必要です。	速報や掲示板など、人の集まる場所は、面積を広くとる工夫をしてください。 大型ディスプレイや大型スクリーンでの供覧などの工夫も検討して下さい。 インターネットによる速報・情報提供は有用とされます。	速報ボード、掲示板の前では長居を避け、多くの人が密にならないように協力をして下さい。 インターネットを介した情報取得は有用な手段です。
表彰式	スポーツイベントである限り、できるだけ行いたいものです。参加者の密を避けるための工夫が必要です。	表彰式は、可能な範囲で行うことを検討して下さい。その際、短時間で手短に行う、参加者が密集しないように式場は屋外で広くとる、音声を広く流すあるいは大型ディスプレイやスクリーンで映像を流すなどの補助手段を用いることを検討して下さい。	表彰式がスムーズに行われるように、主催者に協力して下さい。 会場では密集を避けた節度ある行動をしてください。
参加者交流	競技後の参加者交流、意見交換はオリエンテーリングの大きな楽しみの一つであり、通常の会話のレベルで、マスク等の予防策をしたうえでであれば、極端に制限するべきものではないと思われます。		競技後の交流、意見交換の場では、マスクを着用するなどの感染予防策をしてください。 できれば短時間に留めることもよいかと思われます。大声を出すのは避け、節度のある行動をしてください。 クラブミーティングなどは、事後にオンラインで行うなどの工夫も検討して下さい。
地図回収、返却	地図（ポリ袋）表面には、競技者の汗、鼻汁、血液などの付着の可能性があります。また、地図返却の際には参加者が密集する、他人の物に手を触れるというリスクがあります。 物の表面に付着したコロナウイルスはどのくらい生き続けるか？については、 空気中：2～3時間 段ボール：1日 プラスチック・ステンレス：2～3日 という報告があります。	対処法としては、 1) 競技の公平性に支障がなければ、地図を回収しない。 2) 地図を回収し、新しい地図を渡す。 3) 地図を回収し、封入ポリ袋を役員が除去し、中身だけを返却する。 などの方法が考えられます。 2) 3) の場合は受け取りに来る参加者の密を避ける工夫、取り扱う役員の感染予防の工夫（例えば手袋など）が必要になります。	地図を回収しない場合、競技の公平性を損ねないように、マナー遵守をお願いします。

衣類の一時預かり・返却	参加者の持ち物、衣類から接触感染の危険性はあります。また返却の際の密集にも注意が必要です。	衣類の一時預かり、搬送サービスは必要度合いに応じて検討して下さい。 行う場合は、個別にビニール袋に入れるなどの対策、返却時に参加者が密集しない工夫をしてください。	衣類搬送サービスを利用する場合は、個別に自分用のビニール袋を用意するなどの工夫をしてください。 またピックアップがスムーズに行くように主催者に協力してください。
物品販売	オリエンテーリング関連の商品を手に入れる機会は比較的限制されており、その機会はできるだけ提供したいと考えます。 また、地元からの協力、応援にはできるだけ応じたいことや、地域活性化の観点から、地元の特産品販売などの出店も制限はできるだけ避けたいと思います。 参加者の密集を避ける工夫が必要です。	物品販売を行う場所は、可能な限り屋外（テント）で行うようにしていただきたいと思います。 購買者の行列に対しては、適切に対処してください。	物品購入に際しては、密集を避ける行動をしてください。
地元商店の利用、観光地への立ち寄り	オリエンテーリングを行うに当たっては、地元の協力は必須です。地元感情に配慮した行動をとるとともに、地域活性化といった視点からの地元への協力も必要と思われるます。	できるだけ地元の意向を確認し、参加者に情報提供をすることが望まれます。	集団での立ち寄り（例えば地元のスーパーなどへ）は、感染拡大のリスクを考え、地元の方の感情にも配慮し、節度のある行動をとってください。
スタート	待機場所での密集を避ける必要があります。	余裕のあるスタート地区（およびウォームアップゾーン）のレイアウトが望まれます。 スタートまでの所要時間等の正確な情報提供をお願いします。	適切なタイミングでスタート地区へ移動するようにお願いします。 大声を避けるなど適切な行動をお願いします。
コントロール	同時に競技者が集中する可能性のある場合（例えばマスタートの1番、最終コントロールなど）、密集を避ける必要があります。	競技者が集中しないように、コース設定の工夫をし、複数のユニットを設置するなどの対策が望まれます。	
フィニッシュ	フィニッシュ後の競技者が密集しないよう、スムーズなフローが必要です。	カード読み取りで行列ができないように、スムーズに行える工夫をしてください。 例えば、複数のリーディングユニットを準備する、ミスパンチ・調査依頼等対応は別の場所にするなどの工夫が考えられます。	フィニッシュ後は、その場での滞留を避けるよう行動してください。

<p>コンパス、カード、パンチ台</p>	<p>競技者の使用するコンパスやカード、また手が触れるパンチ台などには、汗、鼻汁、血液などが付着する可能性があります。コロナウイルスだけではなく、HIV、肝炎などのウイルス感染も可能性が否定できません。健康皮膚なら簡単には感染しませんが、傷があったり、目などの粘膜を触ると危険性が高まります。（地図回収の項の解説参照） マイコンパス、マイカードが安心で、レンタル品は消毒が必要と思われます。</p>	<p>レンタル品やユニットは使用前後に洗浄、消毒をお願いします。 ストラップ、ゴムバンドは、交換用の新品を提供または販売するか、もしくは参加者に自分で用意してもらうという方法も検討して下さい。</p>	<p>できるだけマイコンパス、マイカードを利用することが推奨されます。 レンタル品の場合のリスクの理解していただき、ゴムバンド、ストラップは自分で新品に交換するなどの工夫もして下さい。</p>
<p>給水所</p>	<p>コップの共用や、回し飲みをすることは危険です。一人につき一つのディスポーザブルの容器（紙コップなど）で提供することが必要です。</p>	<p>ディスポーザブルの容器（紙コップなど）で提供することが必要です。 ペットボトルの容器やポリタンクの蛇口に多数の人が触らないようにするために、有人の給水所で役員が提供する形がよいでしょう。その際スタッフはマスク、手袋着用が必要です。</p>	<p>紙コップなどの回収に協力をしてください。 給水所（フィニッシュ後も含めて）での密集を避けてください。</p>
<p>リレー</p>	<p>マススタートであり、競技者、観客の密集が想定されます。次走者待機所も同様です。これらが密にならないレイアウトが必要です。 チェンジオーバーでは、一瞬のタッチで感染がおこるとは思いますが、その前後での手指衛生が推奨されます。 ビジュアルゾーンでの応援は必然的に起こってきますが、密集、大声を避ける工夫が必要です。</p>	<p>会場レイアウトは、可能な限り参加者が密集しないような、広さを確保する工夫をしてください。 スタート前とフィニッシュ後に、手指衛生のための消毒薬などを用意してください。 ビジュアルゾーン周囲では、陣取りを禁止し、立って応援させるなど、滞留を避ける工夫をしてください。 通過ランナー確認のための中継画像を別の場所で提供するなど工夫も検討して下さい。</p>	<p>会場での密集予防を意識してください。 スタート前とフィニッシュ後には手指衛生をおこなうように心がけてください。 チェンジオーバー待機枠には、適切なタイミングで入るようにしてください。 ビジュアルゾーンに長居しないように心がけ、声援の際はマスクを着用し、大声を抑えることを意識してください。</p>
<p>リレー（テクニカルミーティング）</p>	<p>前日に屋内でテクニカルミーティングを行うような場合は、三密を避ける工夫が必要です。 建物の収容人員の50%以下の人数が目安です。</p>	<p>参加見込み人数に応じた収容力のある会場を確保してください。 会場面積が取れない場合には、参加人数制限や、オンラインでの開催を検討して下さい。</p>	

当日運営	資材取り扱いについては、あらゆる資材からの接触感染のリスクを意識しておく必要があります。	運営スタッフのための、マスク、手袋、ゴーグルなどの感染予防対策を用意しておいて下さい。 特にごみの廃棄はビニール袋に入れるなどの配慮をしてください。	
救護	救護の担当者は感染リスクがより高くなります。医療のレベルに準じる対策が望ましいと思われれます。	可能な限り、予防衣、マスク、手袋、ゴーグル、消毒薬などの用意に努めてください。	
体調管理	オリエンテーリングは長距離走の一種であり、一般的にはかなり強度な運動に当てはまります。そのため、競技終了後には疲労による影響が残りますので、その点にも注意が必要です。一般的に過労、ストレスは免疫力を低下させ、感染症にかかるリスクを高めます。 競技後の体の手入れ、保温、休養などは、参加者の自己責任になりますが、運営者も情報提供やサポートが望まれます。	気候条件などに応じて、参加者の安全性をより高めるための工夫（例えば寒さ対策など）を検討して下さい。	体調管理は自己責任です。競技の後の、保温、休養、栄養補給などの体調管理に努めてください。
参加者の発症	参加者の中から発症者が出た場合、事後に適切な対応をする必要があります。 保健所や地元自治体等からの連絡、問い合わせがあるかと思わますので、丁寧な対応が必要と思われれます。 参加者が、濃厚接触にあてはまることはあまりないと思われれますが、スタッフ間では近い距離で長時間共同作業をすることはありうるので、注意する必要があります。	参加者や保健所からの情報で、参加者の中に発症者が出た場合は、管轄自治体の衛生部局などに、報告、連絡、相談して下さい。 全参加者へ発症者がいたことを連絡し、注意を喚起しておくことが望ましいと思われれます。 参加者からの調査は前述のとおり、1か月間の保存が必要です。	もし自身あるいは大会に参加していた知人が発症した場合には、それを主催者に連絡してください。特にその方との濃厚接触者がいたかどうかについても情報提供するようにしてください。

\* 参加者に対する調査（当日提出）の内容

氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する

当日の体温

直前2週間における以下の事項の有無

発熱（おおむね37度5分以上）

咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状

息苦しさ（呼吸困難）

嗅覚や味覚の異常

だるさ（倦怠感）、疲れやすい等

新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触

同居家族や身近な知人の感染

過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該地域在住者との濃厚接触